

2023年度第1回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 須磨特別

須磨（すま）は、神戸市西部の区名。大阪湾に面する白砂青松の海岸で、古来より明石と並び称される景勝地。須磨関跡や須磨浦公園などが有名。平安時代末期に起きた一ノ谷の戦いの舞台でもある。

○ 但馬ステークス

但馬（たじま）は、山陰道に属する旧国名のひとつ。現在の兵庫県北部にあたる。ブランド和牛である但馬牛の生産地として有名。

○ 洛陽ステークス（L）

洛陽（らくよう）は、平安京の左京の称。右京を長安と称するのに対する。また、京都の異称。名は、後漢など中国の王朝の首都であった洛陽に由来する。

<第2日>

○ こぶし賞

こぶしは、モクレン科の落葉高木。名は、つぼみが握りこぶしに似ていること、果実に握りこぶし状の凹凸があることから付けられた。花言葉は「友愛」「歓迎」。

○ 茨木ステークス

茨木（いばらき）は、大阪府北部の市。古くから京都と西国をつなぐ交通の要衝を担い、江戸時代には郡山宿が参勤交代等で利用された。現在では、大阪市と京都市の中間に位置することからベッドタウンとして発展している。

○ 農林水産省賞典京都記念（GⅡ）

本競走は、昭和17年に創設された重賞競走。25年までは3000m～3500m、27年以降は2000m～2200mで実施されていたが、44年から2400mに延伸された。また、毎年春・秋の年2回実施されていたが、59年より年1回となり、平成6年には距離が2200m、負担重量がハンデキャップから別定へと変更された。令和4年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

<第3日>

○ つばき賞

つばきは、ツバキ科の常緑高木。関東以北では海岸地帯に点在し、ヤブツバキとも呼ばれる。日本では古代より植栽されており、観賞花として品種改良が行われた。花言葉は「完全な愛」「誇り」。

○ 播磨ステークス

播磨（はりま）は、旧国名のひとつ。山陽道に属し、現在の兵庫県南西部にあたる。播州（ばんしゅう）とも呼ばれる。

○ 京都牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和41年に創設された牝馬限定の重賞競走。当初は2000mで実施されていたが、43年からは1600mに（54年、59年を除く）、平成28年より1400mに短縮され、現在に至る。また、13年に『京都牝馬特別』から『京都牝馬ステークス』へ改称された。令和4年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、阪神競馬場において実施される。

<第4日>

○ 川西特別

川西（かわにし）は、兵庫県の南東部の市。猪名川を隔てて大阪府の池田市と相対する阪神地区の衛星都市である。西は宝塚市、南は伊丹市とそれぞれ接している。北部は山岳の起伏に富み、その一部は猪名川渓谷県立自然公園に指定されている。

○ 武庫川ステークス

武庫川（むこがわ）は、兵庫県南東部を流れる川。延長約66km。兵庫県篠山市に源を発し、青野川や羽束川などの多くの支流を集め、下流で逆瀬川、仁川などを併せて大阪湾に注ぐ。また、阪神電鉄武庫川駅は、武庫川に架かる橋梁上にホームがある全国的にも珍しい駅である。

○ 大和ステークス

大和（やまと）は、奈良県全域を占める旧国名。五畿内のひとつで、飛鳥京・藤原京・平城京などの都が置かれ、室町時代初期までは寺社が大きな勢力を誇っていた。明治9年に堺県（現在の大阪府堺市）と合併し、20年に奈良県として分離した。また、日本の異称としても用いられる。

<第5日>

○ 伊丹ステーキス

伊丹（いたみ）は、兵庫県南東部の市。古くは伊丹氏の城下町として発展し、江戸時代に入ると酒造で全国的に知られるようになった。現在は大阪・神戸のベッドタウンとして位置づけられる。また、同市および大阪府豊中市・池田市にまたがる大阪国際空港は、伊丹空港とも呼ばれ、世界の空港の定時運航遵守率ランキングで1位を獲得したことがある。

○ すみれステーキス（L）

すみれは、スミレ属の多年草。春に花柄を出し、濃紫色の花を横向きに咲かせる。名は、花の形が墨入れに似ていることに由来する。阪神競馬場がある兵庫県宝塚市の市花としても有名。花言葉は「誠実」「小さな愛」。

○ 仁川ステーキス（L）

仁川（にがわ）は、六甲山系に源を発し、武庫川に注ぐ川。また、阪急電鉄今津線の駅名にもなっており、阪神競馬場の最寄り駅である。

<第6日>

○ 松籟ステーキス

松籟（しょうらい）は、松の梢に吹く風の音のこと。松風、松韻とも言う。松は、古くから神が宿り、節操や長寿を象徴する神聖な木として尊ばれている。

○ マーガレットステーキス（L）

マーガレット（Marguerite）は、カナリア諸島原産のキク科の多年草。晩春から夏にかけて、一般に中央が黄色で周囲が白色の花をつける。花言葉は「心に秘めた恋」「貞節」。

○ 阪急杯（GⅢ）

本競走は、昭和32年に創設された『宝塚杯』を前身とする重賞競走。創設当初は、2200mで実施されていたが、35年に距離が1800mに短縮され、その際に現在の競走名に改称された。以降、幾度かの距離変更を経て平成18年より1400mで実施されている。なお、第1着馬には同年の高松宮記念への優先出走権が与えられる。

阪急電鉄株式会社は、大阪市北区に本社を置く鉄道会社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 千里山特別

千里山（せんりやま）は、大阪府吹田市中西部の地域名。大正時代、日本初の田園都市として千里山住宅地が造成され発展した。関西大学千里山キャンパスがあることでも知られ、学生街としての性格も併せ持つ。

○ なにわステークス

なにわは、大阪市付近の古称。仁徳天皇の難波高津宮（なにわのたかつのみや）や孝徳天皇の難波長柄豊碓宮（なにわのながらのとよさきのみや）など、皇居が造営された地として知られる。

また、浪速（なにわ）は、大阪市中部の区名。繁華街「新世界」にある通天閣は、大阪のシンボルとして有名。

○ チューリップ賞（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、平成6年にオープン競走より格上げされた重賞競走。30年からGⅡ競走に格付けされている。桜花賞と同じ舞台で実施されることから、同競走を目指す3歳牝馬にとって重要な競走となっている。なお、第3着までの馬には桜花賞への優先出走権が与えられる。

チューリップ（Tulip）は、ユリ科の球根植物。園芸植物としての人気が高く、品種改良によってさまざまな色や形が存在する。茎が出て幅広い葉が数枚つき、4～5月頃に大きい花を1輪咲かせる。花言葉は「永遠の愛情」「愛の告白」。

<第8日>

○ アルメリア賞

アルメリア（Armeria）は、イソマツ科の多年草。花壇や鉢植えなどで栽培する。花の色は桃・白・赤などで、3～4月に小球状の花をつける。名は、ケルト語で「海に近い」という意味で、和名で呼ばれるハマカンザシとともに海浜性植物であることを表している。花言葉は「思いやり」「心づかい」。

○ 戎橋ステークス

戎橋（えびすばし）は、大阪市中中部、道頓堀川にかかる橋のひとつ。今宮戎神社への参道にあたり、江戸時代に町人たちによってつくられた町橋として有名。

○ 大阪城ステークス（L）

大阪城（おおさかじょう）は、大阪府大阪市中央区にある城。豊臣秀吉が天正 11 年（1583）から 3 年をかけて築いたとされる。慶長 20 年（1615）の大坂夏の陣で落城し焼失したが、その後再建され、幕府の直轄地となり城代が置かれた。以後も数度の火災に見舞われたが、昭和 6 年に現在の天守閣が再建された。周辺は大阪城公園として整備され、大阪城ホールや梅林などがある。

<第 9 日>

○ 阪神スプリングジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、平成 11 年に創設された障害重賞競走。創設時は 3800m で実施されたが、翌年より 3900m に距離が延伸された。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

○ ゆきやなぎ賞

ゆきやなぎは、バラ科の落葉低木。「雪柳」とも書く。春になると白色五弁の小花が枝上に並んで咲き、枝に雪が積もったように見える。花言葉は「愛嬌」「殊勝」。

○ 難波ステークス

難波（なんば）は、大阪府大阪市中央区から浪速区にまたがる地名。なんば駅を中心とする一帯のこと。道頓堀、千日前などとともに「ミナミ」と称される繁華街をなす。

なお、ミナミの中心施設のひとつでもある「なんばパークス」内には、JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ難波がある。

○ コーラルステークス（L）

コーラル（Coral）は、「サンゴ」を意味する英語。サンゴは、サンゴ科サンゴ属の刺胞動物の総称。また、その骨軸。サンゴの中でも深海に生息する硬質のものは古くから宝石として珍重され、日本では 3 月の誕生石としても知られている。

<第 10 日>

○ 天神橋特別

天神橋（てんじんばし）は、大阪府大阪市にある橋および町名。名は、市民から「天満の天神さん」と呼ばれる大阪天満宮が管理していたことに由来する。難波橋、天満橋とともに浪華三大橋と称され、付近には日本一長い商店街として知られる天神橋筋商店街がある。

○ 甲南ステークス

甲南（こうなん）は、六甲山南部の地域。六甲山を背景にした神戸市の山手で、一帯には高級住宅街が広がっている。

○ 報知杯フィリーズレビュー（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、昭和42年に『阪神4歳牝馬特別（報知杯桜花賞トライアル）』の名称で創設された重賞競走。競走名は2度の改称を経て、平成13年より馬齢表記の変更に伴い現在の名称になった。なお、第3着までの馬には桜花賞への優先出走権が与えられる。

スポーツ報知は、報知新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第11日>

○ 淡路特別

淡路（あわじ）は、旧国名のひとつ。現在の兵庫県淡路島を指す。淡路島は、瀬戸内海最大の島。明石海峡大橋で本州と、大鳴門橋で四国とそれぞれ連絡している。『古事記』『日本書紀』によると、日本で最初にできた島とされており、島内には国生み神話に縁のある場所が数多く存在する。

○ 淀屋橋ステークス

淀屋橋（よどやばし）は、大阪市の土佐堀川に架かる橋。名は、江戸時代の豪商「淀屋」に由来する。中之島と船場を結び、御堂筋の一部となっており、国の重要文化財にも指定されている。周辺には企業や大阪市の関係機関のビルが立ち並び、大阪を代表するオフィス街となっている。

○ 若葉ステークス（L）（皐月賞トライアル）

若葉（わかば）は、芽を出して間もない葉のこと。特に、初夏の木々のみずみずしい葉を言う。なお、第2着までの馬には皐月賞への優先出走権が与えられる。

<第12日>

○ 山陽特別

山陽（さんよう）は、山陽地方、または山陽道の略。山陽地方は、本州の瀬戸内海側に位置する地方。瀬戸内海に面し、瀬戸内海式気候が見られる。山陽道は、古代に定められた五畿七道のひとつ。また、山陽自動車道の略称。

○ 鳴門ステークス

鳴門（なると）は、徳島県北東部の市。かつては製塩業で発展し、現在は製薬業・養殖業・農業が盛ん。同市の東部に位置する鳴門海峡は、内海側の播磨灘と外洋側の紀伊水道との干満による海面差が大きいため、潮の流れが速くなり、渦潮が生じることで知られている。

○ 阪神大賞典（GⅡ）

本競走は、昭和 28 年に創設された重賞競走。当初は 2000m のハンデキャップ戦で実施されていた。31 年に負担重量が別定に変更され、その後 2 度にわたる距離の延伸を経て、49 年から現在の 3000m となった。また、62 年より実施時期が大幅に繰り上げられ、12 月初旬から現在の実施時期となった。なお、第 1 着馬には同年の天皇賞（春）への優先出走権が与えられる。